

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第2委員会室
			担当職員 三宅
日 時	平成28年9月16日(金曜日)	開 議	午後 3 時 07 分
		閉 議	午後 3 時 47 分
出席委員	小島、○並河、齊藤、菱田、藤本、明田、湊		
出席理事者			
出席事務局	三宅主任		
傍聴者	市民 名	報道関係者 名	議員 名()

会 議 の 概 要

15:07

1 開議（小島委員長あいさつ）

[事務局日程説明]
（配付資料説明）

2 事務事業評価選定事業の論点整理

[事務局説明]

事務事業評価は、事業の目的や手法、成果、コスト、方向性を視点として評価を行うものであるが、1事業約45分の時間配分のもとで、説明・質疑、その後の委員間での議論を通じて評価結果をまとめるということから、時間上の制約もあるため、事前に一定議論の焦点とすべきことを整理し、論点に沿った質疑、適切な評価ができるよう、これより論点整理を行っていただきたい。

（１）商店街等活性化推進事業

[事務局 資料に基づき説明]

<小島委員長>

各委員の意見は。

<湊委員>

事業経費として計上されている地域商業活性化事業補助金に係り、街バル等の取り組みの効果として、実施時には集客・にぎわいの創出があったものの、リピーターとして次にはつながっていない現状が見受けられる。その点を取り上げていきたい。また、プレミアム商品券事業補助金に関しても、カード化したことは全国初とのことであったが、問題があるため他では採用されていないだけのことである。一部だけでなく、広く還元できるような事業として活用すべきであり、効果が上がっているとはいえないのではと考える。

<齊藤委員>

湊委員の意見に関して、良いお店であったらリピーターとして訪れるものであり、街バルや100円商店街等は、自分の店を知ってもらうための取り組みの手法としてはよいが、当然安ければその時の集客が見込めるものの、結局、その店に魅力がなければ次につながらないということである。個店の努力、魅力づくりが必要であ

る。

<菱田委員>

補助金に依存して取り組むという姿勢では困る。H商店街で現在取り組まれているように、各個店の良さをアピールするような取り組みが望まれる。

<湊委員>

多くは市職員が提案して取り組むといった現状にあるように思われる。

<小島委員長>

評価事業の選定理由にあるように、前回の事務事業評価を踏まえ、商店街活性化に向けてどのような改善が図られてきたかという点で見るとどうか。

<湊委員>

それは、事業経費に計上された4つの事業補助金で効果が出たのかどうかということである。

<齊藤委員>

プレミアム商品券事業に関しては、カード化によりデータをとって分析し、各店舗に反映されなければカード化にする意味がない。

<並河副委員長>

意見交換会では、色々な事情からデータの取り扱いが難しいという声であった。

<小島委員長>

論点としてどうまとめるべきか。

<事務局>

プレミアム商品券、街バル・100円商店街に関する意見に関しては、地方創生の交付金事業として行政評価が行われている。執行側における評価、付記意見等についても参照願いたい。

事務事業評価には時間配分に制限があるので、着眼点を決めて、それに沿った質疑ができるよう論点を整理願いたい。

<小島委員長>

以上の意見を踏まえ、各種補助施策は、一過性、限定的な効果となっていないか検証し、商店街振興のための望ましい支援のあり方、施策の方法を考えるという前回の論点に沿って再度評価するということでどうか。

<明田委員>

効果をどのように評価するのは難しい。前回の評価で指摘した点がどうなっているのか、というあたりは見ていかなければならない。

<事務局>

前回評価に対しての執行部の意見があるので、その意見も踏まえていただきたい。

(資料説明)

<湊委員>

確かに商業者がどうすればよいのか見えてこない現状で、施策にどう取り組むのかは難しい問題である。

<小島委員長>

それでは、選定理由、留意点等を踏まえ、各補助金について見ていくこととしたい。

(了)

(2) 公園緑地管理経費

[事務局 資料に基づき説明]

<小島委員長>

各委員の意見は。

< 湊委員 >

選定理由そのものが論点であり、市民満足度が向上しているか、経費の使い方が適切かどうかという2点である。

< 小島委員長 >

指定管理のあり方を問うという視点ではないということか。

< 湊委員 >

指定管理そのもののあり方を取り上げるものではない。市民に満足のいくサービスを提供しているのかという観点であり、議会の評価をつなげてもらいたいという意図がある。

< 小島委員長 >

論点としてはどうか。

< 事務局 >

以上の意見から、市民満足度が向上しているか、経費の使い方が適切かの2点が論点として示されている。

< 小島委員長 >

それでは、その論点に沿って評価を行うことでよいか。(了)

3 その他

(1) 審査日程

- ・ 9月20日(火) 10:30 ~ 所管分審査(産業観光部)
事務事業評価
- ・ 9月21日(水) 10:00 ~ 所管分審査(まちづくり推進部、土木建築部)
事務事業評価
- ・ 9月23日(金) 10:00 ~ 所管分審査(上下水道部)
分科会採決

[事務局 決算審査日程説明](了)

~ 散会 15:47